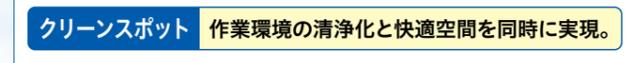
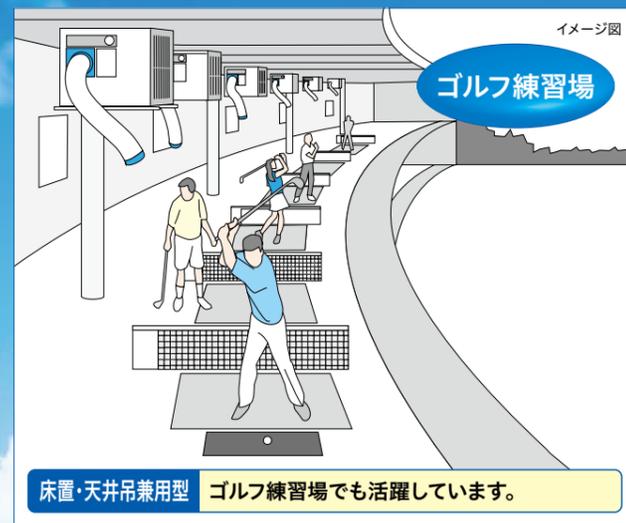
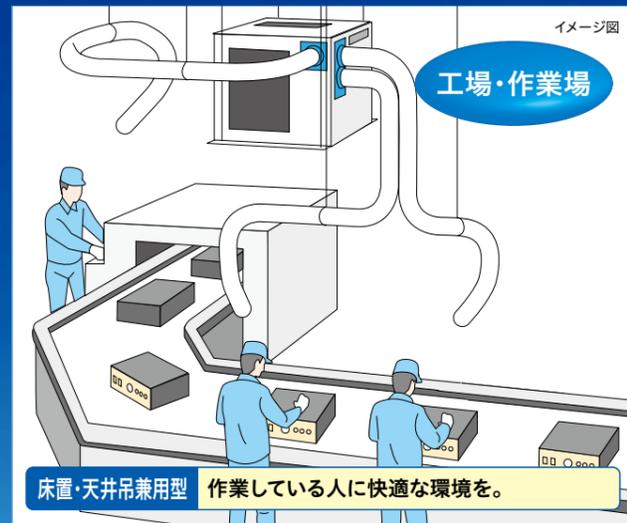
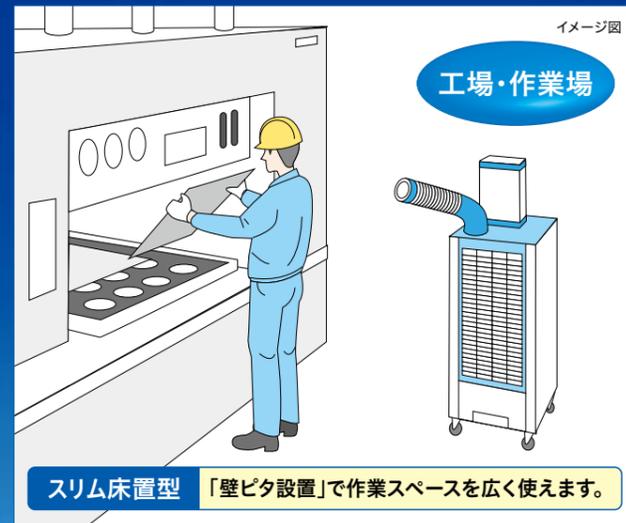


# さまざまな用途・人にクールゾーンをお届け。

# クールショット COOL SHOT

多彩な製品ラインアップで、さまざまな用途や人数に対応できます。



注1) 揮発性ガス・可燃性ガス・腐食性ガスの充満する恐れのある所、振動・衝撃の大きい所ではスポットエアコンはご使用できません。  
 注2) 潮風の当たる海浜地域・温泉地帯・油（機械油も含む）の飛散・蒸気の多い所や粉じんの多い所、酸性またはアルカリ性の雰囲気のある所など周囲環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お近くの販売店にご相談ください。  
 注3) イラストの製品にはオプションが取り付けられています。

## 日立スポットエアコンおすすめポイント

### ●環境に配慮した冷媒・製品素材を採用

オゾン破壊係数ゼロの冷媒（R410A・R407C）を採用しています。ダクトにはPP（ポリプロピレン）製をラインアップ。「脱塩ビ」対応をしています。

### ●運転温度範囲が広い産業用（ワイドレンジタイプ）

運転温度範囲が10～45°CDB（床置・天井吊兼用型は10～48°CDB）まで可能な産業用（ワイドレンジタイプ）もラインアップ。発熱体や熱加工品の冷却、湿気を避けたい物の乾燥など1年を通して活躍します。

注) 標準タイプ運転温度範囲：25～45°CDB（スリム床置型）、25～48°CDB（床置・天井吊兼用型）

### ●排水作業がしやすいコンパクトドレンタンク（スリム床置型P20Y・P40Y型のみ）

コンパクトなドレンタンク（容量：7L）で排水作業が容易です。ドレンホースをつないで直接排水もOK。3方向「壁ピタ設置」で省スペースも実現しました。

### ●ニーズに合わせて選べる豊富なラインアップ

冷房対象人数・使用目的・設置スペースなどさまざまなお客さまのニーズに合わせて選べる豊富なラインアップです。

## 【おすすめ製品紹介】 スリム床置型

### 排気ダクト標準装備

排気の熱を本体周辺から逃がすための排気ダクトを標準装備。

### 省スペース

正面を除く三面が「壁ピタ設置」できて省スペース。

### コンパクトなドレンタンク

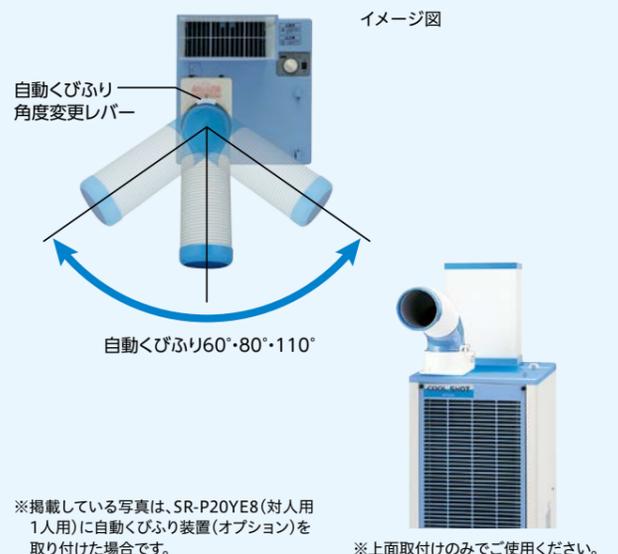
容量7Lのコンパクトなドレンタンクで排水作業も容易です。

### 産業用（ワイドレンジタイプ）もラインアップ

運転温度範囲が10～45°CDBまで運転可能なワイドレンジタイプもラインアップ。対物冷却などに1年を通じて活躍します。

### 自動くびり装置（オプション）

くびり角度を3段階に切替可能な自動くびり装置をオプションでラインアップ。



## 2020年4月からスポットエアコンの性能表示が変わりました。

スポットエアコンはこれまで各社独自の方針に基づいた性能表示をしておりましたが、ユーザー目線で判断しやすくするために一般社団法人 日本冷凍空調工業会標準規格、JRA 4040:1993 JRA 4039:1993を2018年12月に近年の使用実態に合わせて統合し、JRA 4040:2018に規格が改訂されました。これを受け、JRA 4040:2018の評価に基づく新しい性能表示が始まりました。

主な規格変更点は以下の通りです。

### ①定格冷房能力の試験条件について

JRA 4040:2018では、近年、室内の作業環境が悪化している背景を受け、一体形の定格冷房能力試験条件を従来の「35.0°CDB / 28.5°CWB」から「37.0°CDB / 30.0°CWB」に引き上げました。これに伴い、従来の能力表記が変わりました。

JRA 4040:2018に基づいた定格冷房能力試験条件

項目	一体形	セパレート形
室内・室外 吸込空気温度	乾球温度 37.0°CDB 湿球温度 30.0°CWB	35.0°CDB 28.5°CWB

### ②定格冷房能力および定格冷房消費電力の許容差について

日本冷凍空調工業会の方針に則り、定格冷房能力および定格冷房消費電力の許容差が見直されました。これに伴い、従来の能力表記が変わりました。

定格冷房能力	100%以上
定格冷房消費電力	105%以下

### ③定格冷房エネルギー消費効率(EER)の表示について

冷房性能の1つとして、新たに定格冷房エネルギー消費効率(EER)を規定しました。